

午前 10 時 3 分開会

○委員長 ただいまから下総基地特別委員会を開会いたします。

○委員長 本日は、まず前回の報告、11月7日から現在までの下総航空基地の動静等について報告を受け、その後特別委員会の今後の活動について御協議をいただきたいと思ひます。

それではまず、前回の報告から現在までの下総基地の動静その他について執行部より報告願ひます。

○企画調整課長 よろしく願ひます。お手元にあります資料をもとにしまして御報告させていただきます。次第を1枚めくっていただきますと、下総基地特別委員会資料ということで1から3まで書いてあるかと思ひますが、順次御説明をさせていただきます。1番目としまして、下総基地航空機に関する報告ということでございます。ここでは下総基地の航空機の訓練回数について御報告をいたします。この資料のところではいきますと、(1)の24年度のところが年度が終わりましたもので数字が確定しておりますので、今回お示しするものです。平成24年度は、飛行訓練が255日、連続離着陸訓練が147日となっております。また、平成25年度、今年度につきましては4月末、1カ月分でございますが、飛行訓練の日数としては22日、連続離着陸訓練については8日となっております。

もうちょっと細かく御説明をしたいと思ひます。1枚めくっていただいて別紙1のほうをごらんください。こちらのほうでは、今御説明しました訓練の日数等についてもうちょっと詳細に資料のほうをつくってございます。この表の下のほう、平成24年度の欄を中心に御説明をいたします。先ほども申しましたように(「2枚ついている」と呼ぶ者あり)失礼しました。別紙1というのが右端に書いてあるかと思うんですけども、そちらのほうの表でよろしいでしょうか。その表の24年度の表の下のほうの表のほうを中心に御説明をさせていただきます。先ほど御説明したように、年度の合計日数については255日、連続離着陸の日数については147日ということで御報告したかと思うのですが、ここではもうちょっと細かく御説明をしたいと思ひます。表の見方でございますが、4月のところを見ていただきますと、平成24年の4月につきましては訓練日数が20日ありました。そのうち休日に行った訓練はなかったということでゼロです。この20日の訓練のうち6時以降に行った訓練が3日ございましたということです。ただ、この6時以降であっても、さらに越えまして8時以降というのは4月についてはなかったということで、ゼロということでございます。この4月の訓練20日のうち連続離着陸の訓練をした日数というのが17日ございましたということです。その17日間の連続離着陸の訓練のときに訓練を行った飛行機の数というのが34機ありましたということでございまして、⑥として、陸自習志野と記載がございしますが、これは陸上自衛隊の習志野駐屯地の空挺団の訓練として落下傘での降下訓練を行っているということなのですが、その隊員が下総の

基地で飛行機に乗って離陸をし、この習志野の陸自の基地のところで降下をするというために使用した日数が3日というようなこととございます。同様に5月以降、このような推移で、今お手元にある資料のような形で日数のほうが推移をしております。最終的には、年度合計でいきますと255日、休日が25日、18時以降が53日、この53日のうち夜の8時以降まで行ったというのが11日、連続離着陸の日数が147日、要しました機数としては合計で311機、陸自習志野が今言いました空挺団の訓練のために基地を使用した日数が34日という形が24年度の集計結果となっております。

次に、同じこの航空機に関する報告の(2)ということで、下総基地の航空機の騒音等の苦情件数等について御報告をいたします。資料の別紙2というのがあるかと思えます。そちらを御参照いただければと思えます。こちらでも23年度から一応記載をしておりますが、ここでは24年度のところをまず御説明します。苦情、騒音等に関するものにつきまして、平成24年度につきましては受け付け件数が18件ございました。地域別にこの18件の内訳、この表にございますように高田地域から始まりまして、不明というのが1件あるのですが、一応内訳としてはこのような件数となっております。そのいただいた苦情の時期につきましてはその下の表になっております。4月から6月にいただいたのが6件、7月から9月で5件、10月から12月で4件、1月から3月で3件、合計18件ということとございます。苦情の主な内容につきましては、その左下に主な苦情内容ということで四角で囲ってあるんですが、騒音に関する事、飛行回数がふえているのではないかとというような増加に関する事、それから飛行ルートの変更に関する事、あと航空機の低空飛行に関する事、早朝、夜間の飛行訓練に関する事というようなものが主な内容ということで、この内容につきましては、23、24、25ともに同じような内容のものが中心となっております。今年度につきましては、4月末現在ですけれども、今のところまだ苦情の受け付けはいたしておりません。以上が大きなくりの1番ということで、下総基地の航空機に関する報告ということにさせていただきます。

続きまして、2番としまして、下総基地に係る要望についての報告をさせていただきます。資料につきましては、別紙の3というものがさらに1枚めくっていただくとあるかと思えます。別紙の3が2枚あるかと思えます。要望書の原本のコピーと、その次を1枚めくっていただくと、その要望の際の回答のメモということでタイトルが書いてあるかと思うのですが、こちらについて御報告をさせていただきます。要望につきましては、平成25年の2月1日に海老原委員長を初め5名の委員の方々とともに防衛省の北関東防衛局のほうに参りまして、別紙の3にございます海上自衛隊下総航空基地に係る要望についてということで要望書を提出してまいりました。要望してきた内容につきましては、お手元にあります要望書のコピーのとおりでございますが、その際北関東防衛局から、口頭でございますが、この要望に対する回答をいただいております。口頭での回答ということだったんですが、私どものほうでそのときに聞き取りましたもの、メモということになってしまいうんですが、

いただいた回答をメモったものをきょうは資料という形でペーパーにさせていただきます。そちらを御説明をしたいと思います。

今回の要望につきましては、大きくは4点ございましたが、そのおのおのにつきまして回答のほうを口頭でいただいております。1点目の基地情報の提供についてということで、これにつきましては、基地に関する情報、例えば基地の再編とか、使用する飛行機の機種とか装備が更新されますよとか、事故等が発生しましたというような情報につきましては、詳細かつ速やかに提供することという要望をいたしました。これに対しまして、北関東防衛局からの回答としましては、基地に関する情報は地元に対し今後とも適時適切に情報提供に努めていくというような回答がございました。

2番目としまして、調整交付金等の防衛補助事業の充実ということで、補助金の充実確保とともに、民生安定事業における採択の基準の緩和を図ることということをお願いをいたしました。これに対しましての回答としましては、各種の補助事業の交付金等については、各関連法律に基づいて地元の要望に応じて交付金を交付しているところでありますけれども、今後とも市の生活環境向上に寄与するため、予算のほうの確保をしていくということ、それと採択基準の緩和についてですが、現行の基準が生活環境に即しているものか平成22年度より調査を行っており、この結果を踏まえ、引き続き検討していく、また必要な措置については、具体的な要望を聞いた上で検討したいというような回答がございました。

3番目の要望としまして、基地周辺住民の音響障害軽減措置ということにつきましてでございますが、この中を3つに分けて、1点として、早朝、夜間及び休日の飛行訓練に当たっては自粛を徹底するとともに、市街地を回避するなど市民生活に十分配慮をお願いしたいという要望につきましては、早朝、夜間及び休日の飛行訓練については極力控え、訓練上必要最小限に行っているということを御理解いただきたいという回答がございました。次に、基地周辺の一部地域で航空機の騒音が環境基準に満たされていない状況があるということで、早期にその基準を満たすよう達成に努めていただきたいということにつきましては、屋外の調査により、環境基準が未達成となっている地域について、屋内での基準達成ができるよう対策を進めるよう鋭意努力していくという回答がございました。3番目としまして、住宅防音事業について指定区域の拡大とともに、指定日以後の新增築住宅についても補助対象としてほしいという要望につきましては、現に所在する第1種区域内の家のみ調査を実施している。防音事業の対象については、運用状況を踏まえ、必要に応じ調査を行い、適切に対応したいという回答がございました。

4番目、最後の要望としまして、事故防止等の安全対策の徹底ということで、1点目としては、飛行機等からの部品の落下等の事故防止対策に万全を期すことというのと、2番目としては、適正な飛行ルート、それから高度を確保して安全な飛行に努めてほしいという要望に対しましては、安全についての管理や教育をもっと徹底したいと考えている。また、飛行ルートや高度については、規定ルート及び安全

高度を遵守しているものと考えておりますというような回答が口頭でございました。

次に、3番目としまして、平成25年度の基地周辺の補助事業の予定について御説明をしたいと思います。平成25年度に予定しています事業としては、3点予定しております。1点が大津ヶ丘の中央公園としいの木台公園でございます庭球場の整備事業を予定しております。こちらにつきましては、事業費が3,598万5,000円で、補助額としては2,500万円、2点目としましては、リフレッシュプラザ柏にあります既存の井戸の設備を改修する事業を予定してまして、こちらも事業費としては2,330万円で、補助金としては1,000万円を予定しております。3点目としましては、学校給食センターの調理機器の更新事業を予定しています。事業費としては3,742万6,000円、補助額としては3,400万円を予定しまして、3事業合計では、事業費としては9,671万1,000円の事業としまして、それに対します補助額として6,900万円の補助をいただくという予定をしております。

これにつきまして、もうちょっと詳細に御説明したいと思いますので、別紙の4というのがございます。そちらをごらんください。別紙の4、ごらんいただくと、まずこちらでは平成24年度の実績、それと今説明しました25年度の予定のほうを書いてあるんですが、流れ上、先にこの下でございます25年度のほうから御説明をさせていただきます。3事業の合計の事業費、補助額はただいま御案内したとおりでございます。事業予定のところなんです、最初にあります大津ヶ丘としいの木台のテニスコートの整備でございますが、大津ヶ丘には3面のテニスコート、しいの木台には2面のテニスコートがございますが、こちらはともに人工芝になっておるんですが、こちらがもう大分老朽化して、プレーされている方がけがをされているということもあるということで、合わせまして5面のテニスコートのほうの改修に補助事業を充てていきたいというふうに思っております。ちなみに、大津ヶ丘のテニスコートについては昭和51年にオープンをしておりまして、平成15年に今の人工芝に変えたということございまして、あとこちらはナイター設備があるということで、使用頻度が非常に高いということを担当課のほうから聞いております。しいの木台のほうにつきましては、平成8年にオープンをしているということでございます。

2点目のリフレッシュプラザの既存井戸の設備改修事業でございますが、これについては、今リフレッシュプラザにある井戸を利用して、耐震性の井戸つきの貯水装置をつけようというもので、あわせまして緊急時の給水ができるように、一般の方が給水できるように、その設備もあわせてつけるという事業でございます。

3点目の学校給食センターの機器更新については、給食センターの中に熱風消毒保管庫というのがあるんですが、こちらは食器を洗浄等した後、この機械の中に入れて温風、センターの場合は蒸気なんです、それで殺菌をして保管をしておくという、O157対策ということで導入をしたというふうに私も理解しておるんですが、こちらの機器、老朽化しているため、今回入れかえを行うという予定のものでございます。

では、ちょっと戻っていただきまして、この資料4の上のほう、24年度の実績のほうについて御報告させていただきます。平成24年度の補助事業の実績でございますが、(1)としまして、老人福祉センターいこい荘の改修事業を行いました。こちらは、事業費については3,614万3,000円で、補助額が2,710万7,000円、事業内容としましては、空調設備とか外壁、屋根の改修工事等を行っております。(2)としては、藤心小の給食室の改修を行いました。事業費が3,556万3,000円の補助額が2,300万円でございます。こちらは、給食室の床とか全てとりあえず全部撤去しまして、新たに床塗り直しとか、機器についても配置もあわせて再設置を行っております。あと、藤心小の場合、配ぜん室というのがなかったのが現状だったんですが、そこら辺を改修の中であわせてスペースも確保して、俗に言うワゴンホールというんですか、教室に持っていくためのワゴンを置いておくような部屋を確保するようなこともここでしております。(3)としましては、25年度も御説明したんですが、同じく学校給食センターの機器更新ということで、こちらは事業費が1,207万5,000円、補助額で900万円、こちらは釜の購入を新たにしました。更新でございますが、約3,000人分の調理ができるような、今もその釜があったんですけども、それが老朽化したために新しい釜に交換をしております。(4)としましては、消防団関係でございますが、大井分団器具置き場の建設工事ということで、大井消防団の資機材を置きます消防器具の置き場の建てかえを行いました。こちらにつきましては、事業費で4,258万8,000円、補助額で2,900万円でございます。最後に(5)としまして、光ヶ丘分署に救急車のほうを購入をいたしました。高規格救急車です。1台を更新してございます。事業費としては2,735万円、補助額としては1,038万7,000円でございます。5つの事業を合わせまして1億5,371万9,000円に対して補助金としては9,849万4,000円補助金をいただいたということが24年度の実績となっております。

それから、資料のほうには記載はないんですけども、お手元にカラー刷りの写真というか、飛行機の載っているものがあるかと思いますが、こちらについて御報告させていただきます。これなんでございますが、ありますように、P-1という飛行機でございまして、現在下総の航空基地に配備されています対潜哨戒機は、P-3Cというのが今下総基地に行きますとあるんでございますが、これはプロペラ機の4つついているものがあるんですが、これの一応後継機ということで開発を進めてきたのがこのP-1という、お手元にカラー刷りである機体でございます。このたびこのP-1が、3月の27日でございますけども、完成をして、試験運用等が終わったということで、海上自衛隊の厚木基地のほうに2機配備をされたということで、自衛隊のほうから報告がありました。下総基地との関連なんでございますが、この機体が下総基地に配備になるという予定はここ5年ぐらいの期間の間ではないということでございます。ただ、新しいこのP-1の整備をするための教育については下総基地のほうで行いますということで、既にもう開始は、4月からでしょうけども、開始をされているということでございます。下総基地にこの機体が配備に

なるかについては、少なくともこの先5年の間には予定はないということがあるのと、このP-1という機体なんですけど、この委員の各位のところにございますのに書いてあるとおりで、騒音については、今のP-3Cよりも一応騒音的には低い値を示しているというようなことが記されております。以上、動静関係ということでの御報告でございます。以上です。

○委員長 ありがとうございます。ただいまの報告に対し何かありますか。御質問等ありますか。

○日下 では、今報告があったP-1の件についてなんですけど、厚木に2機現在配備されて、もう既に4月から下総基地にも要するに飛来しているということなんですね。

○企画調整課長 この飛行機、厚木に配備をされていますが、下総には飛来はしていません。厚木の基地のところで訓練、こっちには全く飛んでもきていません。ただ、自衛隊のほうから説明があったのは、例えば厚木のほうが飛行中に天候が悪くなっておりられなくなったりした場合、下総のほうに一時的に立ち寄るということは、可能性としては今後ありますということでございました。正式配備はされておられませんので、この機体が下総に来るということ、下総でこの機体が訓練を行うということではなく、先ほども言いましたが、整備の教育については、下総に学校がございますもので、そちらでやっていると。整備の教育だけということでございます。以上です。

○日下 下総基地から隊員が向こうに行って、向こうで整備をするための教育、整備の教育を受けているということなんですね。

○企画調整課長 要は、整備員を育てるというんですか、その研修所的な意味合いが下総基地はございますので、第3術科学校というのが下総基地内にはあるんですが、ここでP-1の整備をするための教育を行っているということでございます。

○日下 先ほど騒音は低いとおっしゃったんだけど、私の情報によれば、ジェット機だから、プロペラ機よりも上空に上がって、上がってしまえば騒音は静かになると思うんですけども、離着陸するときの音はすごいですけれども。

○企画調整課長 私も実は、ここで今説明したんですが、実際音は聞いておらないので、文献だったり、この説明だったり聞く程度でしかないもので、そこら辺は私も離着陸時の音がどうだこうだというのははっきりわからないというのが現状でございます。

○本池 さっきの事業の関係なんだけれども、24年度は今報告ございましたよね。24年度については、私も前回の資料を持ってきていないので、申しわけないんですけど、この計画した要するに事業費と補助額、ちゃんといただけたのかどうかということ、そこだけ確認をしたいんですけど。

○企画調整課長 先ほど5事業で9,800万円ということで御案内したんですが、額については予定どおりといたしますか、こちらで事前に防衛省のほうと協議をしていた数字と変更なくいただいております。

○本池 そうすると、結局うちのほうの事業費そのものというのも最初の計画どおりになっているのか、それに対しての何割という形で計算するんだと思うんです。予定の事業費が下がったり上がったりする場合ありますよね、現実には。そういう点の中で、9,849万4,000円についてはちゃんと前回お示しした補助額でいただいているということなんです、柏市でこうやって事業を組んだときの額との差異というのかな、そういうのでいけばどうだったのかなと。要するにいい場合だと、事業費が3,814万3,000円になっていますよね。それがこれできちんとおさまって、この額だったらこれでいいんだけど、この額、実際にかかる額と、一応予算だから、あくまでもそういう点では誤差が生じる場合もあると思うのね。そのときの補助額というのは、それに応じた形でちゃんと精査されるのかどうかということを確認しておきたいんですが。

○企画調整課長 こちらに示しました事業費は一応決算額ということで、契約額になっております。今委員からありましたように、当初例えばこのいい荘で3,600万円というのが仮にふえたとして、それに見合う補助があるのかということだと思うんですが、調整交付金につきましては、基本的に増額が発生しますと、それに見合う分の増加というのはございません。このいい荘につきましては、民生安定の防音の補助メニューというやつで、(2)から(5)の補助メニューと多少違うんですがございますけども、この(2)から(5)のものが実は調整交付金という名目のものでいただいたものなんです、こちらについては当初の事前の協議の事業費がベースになっておまして、それに見合っただけの増額というのは調整交付金についてはございません。ただ、調整交付金については、ここ数年金額については減少等がなく、いただいている状況です。

○本池 きちんといただいているということで確認してよろしいわけですね。

○日下 今の交付金の件ですけども、交付金はここ2年間上がっていますよね。11年、12年と、ぐっと上がったんですよね。それはなぜですか。

○企画調整課長 調整交付金、今委員から御指摘あったように、数年前までは私の記憶だと5,000万円ぐらいだったんですが、それがここで7,000万円ベースに増額になっています。1つは、国のほうで調整交付金の算定方式が変わったということ、それと国のこの調整交付金に充てる予算の増額があったということが要因だというふうに聞いております。以上です。

○日下 2010年に、2010年の5月かな、ちょっと私議会で取り上げたような記憶があるんですけど、日米合意があって、要するに普天間基地問題絡みで基地の本土拡大の合意が日米の間で確認されて、5月の28日だったかな、日本の自衛隊についても米軍使用の拡大をしますよという合意がされているんだと思うんですよ。そのこととこのお金が上がったことは関係あるんじゃないのかなというのが1点質問と、それから先ほど訓練機の飛来の報告があったんですけども、この中にはそのことによって下総基地に米軍機が飛来している事実というのがあるのかなのか。これ私議会でも取り上げて、現実に飛来があるという調査もしたんですけども、そうい

うことについても報告を求めるべきではないのかなというように思うんですけど。

○企画調整課長 1点目の調整交付金の増額に関する日米関係の因果関係については、私のほうでもそこについては把握をしておりません。2点目の米軍機の飛来等につきましては、仮にそういうことがあったときには、速やかにこちらのほうにも報告をお願いしたいということは重ねて基地のほうに要望してまいりたいと思います。以上です。

○円谷 基本的なことで申しわけないんですけど、資料の別紙1とかに柏市調査ということで数を出していただいているんですけど、これは基地のほうでこの数って言っているわけじゃなくてということですか。

○企画調整課長 済みません。この記載の仕方、ちょっと誤解を招くということで御説明させていただきます。これは、基地から報告があった数字を取りまとめたということで、調査という市で独自にカウントしたみたいなイメージがあるかと思いますが、そういうことではございませんで、基地からいただいた資料でその数字をまとめたということでございます。申しわけございません。

○円谷 わかりました。ありがとうございます。たしかというか、僕がいたので、去年の話なんですけど、要望に対して口頭じゃなくて書面でもらえないのかというのをどなたか委員の方が前回おっしゃっていたんですけど、やっぱりそれはないということなんですか。

○企画調整課長 この件につきましては、ちょうど1年前のこの委員会で終わった後そういうことがありましたもので、私と企画部長とで北関東防衛局のほうにもお話しに行ったり、あとは事務連絡等でもその旨は申したんですけど、北関東防衛局からは、回答としては、丁寧な説明に努めますので、口頭での回答ということでいただいております。以上です。

○円谷 やっぱり書面でいただけたらいいのかなというふうにも思うんですけども、それは向こうがそう言うのであれば引き続き働きかけていただきたいというふうに要望いたします。僕は、下総で訓練された方が将来多くの方の役に立つのであれば、これはすばらしいことだと思いますので、一方でこういう要望書を出すというのは、自衛隊基地側と住民の方の信頼関係というか、快適な生活、安全な生活を担保するためのものだと思いますので、要望書がどのようになっていくのか、また基地側にいただける情報というのがどういうものなのかというのをしっかり把握、また注視しながら、実現できるように働きかけていってほしいなと思います。我々委員もきちんとその辺は注視しながらやっていきますので、ぜひお願いします。

○日下 2010年の5月の日米合意の文書というのは、自治体には送られてきているんですか。報道によれば、330の自治体に、千葉県ですと、県と、それから8つの自治体にその文書が送付されたというんですけど、それに対する解釈というかな、説明とか、そういうものは全然なかったんですかね。まだ担当じゃなかったっけ。

○企画調整課長 2010年に今言いました日米合意の文書が各自治体にというのは、私も今委員に御指摘を受けて初めて聞いた状況です。



○日下 後で調べてください。それによってかなり規制も緩和されて、米軍機なんかも割と伸びやかに飛来してくるのではないかなと思うし、過去にも実績としてあるわけですから、そういうこともきちんと把握していく必要があると思うんですね。とりあえず文書を調べていただくということと、その中身をどういうふうに解釈すべきなのかということを担当部署でも検討してほしいと思います。

それから、先ほどの報告で降下訓練の報告がありましたね。下総で離陸をして、それで習志野で訓練をする。パラシュート訓練というのは習志野でやっているわけでしょう。それで、下総基地から部隊が行くということですかね。

○企画調整課長 パラシュートを背負った隊員が下総で飛行機に乗って、飛んで習志野の上空で降下訓練をするというのに下総の滑走路を使用しているということでございます。

○日下 直接的に下総の隊員がそれに直接かかわっているということではないわけですね。

○企画調整課長 あくまで陸自の隊員がということでございます。

○日下 この報告って今までなかったですよ。ありましたっけ。

○企画調整課長 これにつきましては、私は去年から仰せつかっているんですが、去年から一応この項目を入れさせていただいて、ただ報告は多分あったかと。なかったですかね。

○日下 ないです。そのパラシュート訓練のことをここで私も発言したことがあるので、こういうことがやられているんじゃないかということ発言したことがあるんですけど、これは報告させていただいて、いいことだと思います。

○山田 調整交付金の採択基準の緩和、これについてはどこまで行っても際限がないところもあるけれども、25年度の予定、大体補助枠だとか何かというのは基本的にあると思いますけれども、こういうことで、考え方だけだけれども、25年、その先だとか何かというのを考え方だけはしっかりつかんでおいて、うまくやってくれというわけじゃないですけれども、その辺は緊密に、この生活全体のまちづくりの中でのうまいお互いに相互の、都市基盤の改造のためにも努力してもらいたいと。考え方があればお話ししていただきたいと思います。

○企画調整課長 調整交付金につきましては、基本的な考え方としては、基地が存在していますところは旧沼南のエリアということで、基本的には基地周辺の特に沼南エリアにポイントを置きながら調整交付金を充てて事業を展開したいというふうに考えているのが1点と、調整交付金の金額等につきましては、担当しているのが北関東防衛局でございます。こちらの担当のほうとは、私どものほうの担当のほうで連絡を密にとったり、あと何度も担当のところには足を運びながら、情報をもらいながら、もらえる金額については余すところなくもらって事業を実施していくという基本的な考え方で今後も進めていきたいと思っております。以上です。

○山田 方向性を踏まえてしっかりお願いします。

○塚本 苦情の受け付けの概要の件なんですけれども、平成24年度で高田2件とあ

りますけれども、従来高田のほうからはそういった苦情はなかったと記憶しているんですけれども、その内容とか、もしわかれば教えていただきたいと思います。

○企画調整課長 今委員から御指摘ありましたように、高田地域からの苦情については、22年度のデータを見ても、高田地域からの苦情というのはございませんでした。この高田2件の苦情の内容については、今資料を確認をさせてもらえればと。今手持ちではありません。ただ、内容は先ほども御説明しました主な内容のどこかにひっかかっているのかなということですので、個票がございますので、ちょっとそちらを。

○日下 今この国で一番国民が心配しているのはオスプレイの問題だと思うんですよ。それで、その直下の自治体なんかはいろいろ意見書、要望書を国に上げていきますけど、千葉県はその7つの飛行ルートの直下ではないんだけど、今沖縄ではオスプレイが配備されて訓練飛行をしていて、オレンジルートでももう訓練が始まったと、こういうわけですよ。千葉県には幾つもの米軍、それから自衛隊の基地があるわけですね、館山から始まって。オスプレイが稼働するときに、そのルートからすぐ突然稼働するというふうにならないわけで、どこかからスタートして、そのルートに入っていくわけですね。そのときに、例えば館山沖の太平洋のヘリポート用の軍艦からオスプレイが飛び立って、館山、木更津、そして習志野、下総というふうな流れで来るですとか、あるいは百里基地から下総、そして習志野、木更津というような、そういうルートで飛来することもあり得るのではないかということも考えるわけです。そういうことはもちろん議論されていないと思うんだけど、オスプレイに関する情報ですとかは何かないですか。

○企画調整課長 オスプレイに関しましては、何も情報というのは執行部としては持っておりません。以上です。

○日下 大体こういうのを開始するときというのは、長期に前に連絡を入れてというんじゃないくて、大体防衛省は前日あたりにやるよと言って実行するんだですよ。だから、そういう点では事前にそのことについても部署として問い合わせしていく必要があるんじゃないかなというふうに思います。以上です。

○企画調整課長 先ほど御質問ございました高田地区の2件の内容ということでございます。こちらにつきましては、1件が、こちらの地域にここ9年間ぐらい住んでいるんだけど、最近やけにうるさいのではないかということで、騒音に関することが1件、それからもう一件が、朝7時ぐらいから飛んでいるようだが、これは何かあるのかというようなのが内容でございました。以上です。

○本池 今の報告だと、その朝7時からということの苦情に関しては確認されたんですか。

○企画調整課長 一応7時という段階では、基地の運用自体としては、……この7時というのを受けて基地に確認をしたところ、この該当する月以外の数カ月間で朝7時台の訓練をしたということはないという確認をとっております。基地からの確認をとっております。

○本池 そういった意味では、一々そういう形で規約というか、決めがあるわけですから、それを受けた人がわかれば逆に教えてあげるということも必要だと思うんですが、その辺はどうなっていますか。

○企画調整課長 苦情を寄せられた方からお電話番号等教えていただいているケースの場合は、確認をした結果を住民の方にお伝えをするということにこれまでもしておりますので、今後もそうさせていただければと思います。

○本池 わかりました。それで、24年度を確かに見ると、件数そのものは4件ぐらいしかふえていないんですけれども、幅広く23年度から比べても地域的に広がっているというのかな、その訓練のあれだと思うんですが、そういった点は事前に当然こちらのほうに変更があれば市のほうに言ってきますよね。その訓練の飛ぶ地域というんでしょうか、そういうときには、言ってきたときには、もちろんそのときに騒音の問題とかいろいろと気をつけてくださいという形でお願いはしているんですよ。その辺どうなんでしょうか。

○企画調整課長 自衛隊とは、こういう委員会とは別にもろもろの関係で毎月連絡等をとるようなケースがございます。その時々はこの苦情関係のことは、今現状でこういうのが寄せられていますとか、そこら辺はお互い情報交換等をしながら対応をしているところです。以上です。

○本池 では、その辺は十分これからも状況を見ながら適切に市民の生活を守るという立場からお願いをしたいと思います。以上です。

○委員長 ほかにございませんか。——なければ次に参りたいと思います。

---

○委員長 次に、今後の委員会の活動についてですが、例年他の自治体の基地にかかわる取り組みやその基地の状況についての行政視察を行っております。例年1年交互に1泊、日帰りを繰り返しているんですけれども、昨年は1泊で行きましたので、今年度は日帰りとなりますけれども、まず視察を行うか行わないかを決めたいと思いますが、御意見ございますでしょうか。（「正副委員長にお任せします」と呼ぶ者あり）もし実施するとすれば7月中に行くことになるわけなんです。8月はちょっと避けたいと思いますのと、あと参議院選挙の関係なんかは皆さんどうなんでしょうかね。大丈夫ですか。（「日帰り」と呼ぶ者あり）日帰りということで、執行部から何か案がございますか。

○企画調整課長 日帰りとなりますと大体限られてくると、あと下総航空基地ということで、航空機の関係の基地だったりとかとなると、県内ですと館山とか、あと先ほど出ました習志野のところですか。ここは滑走路は何もない。今言ったように、下総から飛んだのが上を通るだけということになります、そんなのがあったり、あとは海上自衛隊関係では、今言いました県内だと館山になるかなとは思いますが。あと、下総基地、実は今管制塔のほうを工事しておるんですが、これがまだ今工事中でございまして、完成は秋以降ということなので、下総基地への視察というのは、今のところこれまでと特に変わったことはないような状況かなというふう

に思っております。以上です。

○委員長 お任せいただくのはありがたいんですけど、日程的に皆さんが余りにも決めても少ないと実施する意味もなくなってしまうので、皆さんの日程調整が可能であるということであれば、やるやらないを含めて一任いただいても構わないんですけど。（「正副委員長から提案してもらって、参加できる人、できない人もいるかもしれない」と呼ぶ者あり）わかりました。では、できるだけやる方向で調整をさせていただきます。

それでは、実施時期、また場所については私ども正副委員長に一任を願います。詳細については、後日御連絡をさせていただきます。

---

○委員長 以上で本日の下総基地特別委員会を閉会いたします。

午前10時58分閉会